



五箇山の雪あかり 撮影者/富山市 上市 真也

## 2014年 新春

景気の先行きにやっと明るさが見え始めてきました。15年春に開業する北陸新幹線の列車名も「かがやき」「はくたか」「つるぎ」に決まりました。16年のリオデジャネイロ五輪の次の20年の開催地も東京に決まりました。富山からは新幹線での五輪観戦も可能となり、飛行機が苦手な私には朗報です。今年こそこの良い流れに乗っていかねばと思います。

この20年間長期の経済停滞に阪神大震災、東日本大震災、温暖化が原因とみられる異常気象や災害が重なりましたが、新しい年を迎えるたびに思いを強くするのですが、ろくなことがないのは今の年号のせいではないかと。作家の故・丸谷才一氏は以前から新聞のコラム欄等で、今の元号の元では世が乱れるのはあたりまえであることを歴史や日本語の言葉遣いから指摘しています。縁起をかつぐみたいですが、四半世紀が過ぎるのを機に、今年からは西暦表記に統一してみようかと思っています。その方が医療・介護の分野では年齢や病歴を計算するのにも便利だと思います。

今から47年前、1966年のクリスマスマスの日に父は三輪外科医院を開業しました。消化器外科の手術を多数行って地域医療に貢献しました。高齢者医療にも取り組み、療養病床や老人保健施設を開設しました。一方で今ではその増加が社会問題となっている認知症の治療にも早期より取り組み、県内では一番早い時期に認知症治療病棟を開設しました。さらに社会福祉法人を設立し、特別養護老人ホームやケアハウス、グループホームの運営も行ってきました。父は型にはまらな



理事長  
**竹鼻 敏孝**

あいさつ  
特定医療法人社団 三医会



い発想力と行動力を発揮して、消化器外科医にはとどまらず、さまざまな分野に挑戦してまいりました。そんな父でしたが、昨年は病に倒れ、入院治療も余儀無い状態となりました。亡くなる前日に父の病室で話した際「患者にやさしい医療者になるように」と言っていました。父の最期の言葉になりました。

今年も父が大切にしていた三医会の理念、「ほほえみ」と「おもいやり」と「いたわり」の心を常に持って、患者様・利用者様に接し、これまで以上に頑張っていきたいと思っています。

## 子育てサポート企業認定 くるみんマーク

働きやすい環境で能力を発揮

経理部事務長 平井浩子



このたび、当法人は、次世代育成支援推進法にもとづき、次世代認証マーク（愛称：くるみん）を取得いたしました。

このマークは、仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしない職員を含めた多様な労働条件の整備などに取り組むための行動計画を定め、その目標を達成し、かつ一定の要件を満たした場合、申請を行なうことで、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から認定を受けるというものです。

### 環境づくりに取り組んできた



子供参観日 薬剤師の松田さん



チュールリップ園 朝の登園



こなか園 朝の登園

当法人は、結婚や出産のために離職せざるをえない職員の離職を何とか食い止めたこと、勤務時間短縮を制度化し、「事業所内保育所」を設置運営するなど、子どもがいても安心して働ける環境づくりに早くから取り組んでまいりました。また、近隣小学校との連携で、放課後の「学童保育」も実施いたしました。病院にある小児科・耳鼻咽喉科で、子どもの急な発熱等にもすぐに対応できる事

も、大変安心できるサポートの一つです。

### 男性も育児休暇を取得する

女性職員の育児休暇取得率はすでに100パーセントに達しておりますが、一昨年より、男性職員を含めた働き方を見直し、男性の育児参加を積極的に勧め、男性職員も育児休暇を取得することができました。

また、さらに子育て世代だけではなく、もつと幅広い世代にも焦点を当て、長期在勤者の労をねぎらうための「リフレッシュ休暇制度」も導入いたしました。

今後も継続して制度をさらに使いやすくし、働きやすい職場環境を整え、職員一人ひとりがさらに能力を発揮できるよう取り組みを進めていきたいと考えています。



小児科 竹鼻純子先生に受診



耳鼻咽喉科 月岡泰子先生に受診



学童保育、新保こども会に迎えに行く河原さん



育児休暇を取得した飯田さん

## リフレッシュ休暇

### 家族でデイズニーへ

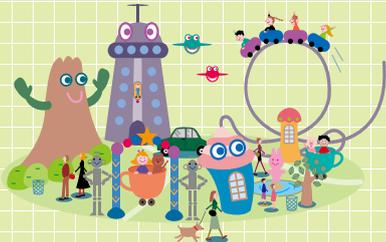
とみなみ  
三輪病院

看護師 附木亜希子

福利厚生の一環として勤続年数に応じて利用できる「リフレッシュ休暇」の制度ができました。私は今年で勤続10年ということでのこの制度を利用できる対象者となり、とみなみ三輪病院では初のリフレッシュ休暇2日間を頂きました。

私はこの休暇を利用して夏休みに家族4人で東京へ旅行に行つてきました。デイズニーランドは開園30周年という記念の年で大勢の人で賑わっていました。天候にも恵まれ、家族で楽しい時間を過ごすことができました。

リフレッシュ休暇は、今年できた制度ということもあり、10年以上勤務されている方には本当に申し訳なく思っています。また、職場の皆様には忙しい勤務状況の中、休暇をとらせて頂き感謝しています。



制度の改正を  
よく理解しよう!!

精神保健福祉法・  
法令遵守に関する研修会

10月8日、精神保健福祉法に関する研修会、法令遵守に関する研修会を三輪病院・みわ苑職員70名参加のもと実施しました。

精神保健福祉法については、認知症治療病棟や精神科に通院される患者様に直接かかわる重要な内容であり、毎年研修を実施しています。平成26年4月には医療保護入院制度の見直し等改正が予定されており、保護者制度の廃止などが盛り込まれています。

法令遵守に関する研修会は、医療機関に関する立ち入り検査について、医療機関に行われる、各種行政調査・指導について確認しました。どのよ



うな法令に基づき、何を目的に実施されるかを確認することで、日頃の患者様へのサービス提供の見直し、診療報酬や介護報酬の施設基準遵守などの意識付けすることを再確認しました。

ニューリーダー紹介

8月1日辞令



三輪病院  
介護療養病棟  
介護チームリーダー  
高野 裕子

理念をモットーに努力するリーダーとしての責務を自分への挑戦とし、患者様に信頼され、安心して安全に入院生活を送って頂ける病棟になるよう、努力します。

9月1日辞令



三輪病院  
療養病棟  
作業療法士  
笹山 裕子

新しい職場に慣れる

今回、リハビリ部門のリーダーの辞令と同時に、西病棟から療養病棟へ異動しました。リーダーとしての責任の重さを感じるとともに、早く慣れるよう頑張ります。

シリーズ No.11  
委員会活動

三医会  
広報委員会  
(三輪病院・みわ苑・  
となみ三輪病院)

広報委員会は、「三医会全体を網羅する広報誌を創るべき」との竹鼻敏孝理事長の方針に基づき、平成20年9月に発足し「ほつと三輪」第1号を平成21年正月に発行しました。現在、ほつと三輪は7月と1月の年2回、A4 12ページ、1,900部発行し、職員、患者家族、医療機関、行政機関、近隣の自治振興会役員等に配布しています。

編集方針として、院内外の研修報告、施設の行事、相談コーナー、各部署の紹介、地域との交流を基本としつつ、なるべく職員の顔を出してもらおう心に掛けています。委員は7名で年6回集まり、記事内容が被らないように調整し、原稿依頼・校正・印刷手配・発送を行なっています。



シリーズ  
部署訪問  
No.11

まいどはや

グループホーム庄の里

庄の里は平成23年4月に開所したグループホームです。毎日、入居者の方々と一緒に食事準備・掃除・レクリエーションを行っています。

また、季節ごとに行事を行うったり、ドライブに出かけたりしています。認知症の入居者と共に「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」生活していく



ことを目指し、職員一同頑張っています。その中で、入居者一人ひとりに合ったこと、合ったものを提供できるよう日々考えながらケアを行っています。



# 第13回日本音楽療法学会学術大会発表

医療技術部 音楽療法士(補)

下村 佳子

第13回日本音楽療法学会学術大会が9月6日〜8日まで、鳥取県米子市で開かれました。大会テーマは「音楽療法の役割を再考する」〜個のつながりや地域とのつながりを通して〜。日本音楽療法学会理事長日野原重明先生の基調講演後、大会長岩永誠先生の挨拶では、東日本大震災で被災された方々の実例を話されました。参加者は「人と人との絆」は音楽を通して結んでいけることを再認識しました。

私の事例研究が採択され、「言語聴覚士の摂食嚥下訓練に繋げた音楽療法による口腔機能訓練」と題して発表しました。20分の発表、15分の歯科医で音楽療法の先生の指導、5分は質疑応答で、耳鼻咽喉科医師が、「歌唱は、声帯を動かして反回神経に作用し摂食嚥下訓練に有効である。また、高齢者の介護予防、身の活性化のため、益々音楽療法は必要になってくると感じました。」と話されました。これからも、音楽で病床上にいる患者さんに寄り添い、研鑽を積んで生きたいと思えました。



## 小林歯科医院 小林岳志医師紹介

療養病棟では摂食・嚥下障害があり、経口より食事を摂れる入院患者様は少ないです。□から食べてないのだから口腔内が汚れる事はないと思われませんが、唾液の分泌も減り乾燥し自浄作用も悪くなります。お□から食べている方以上に十分なケアが必要です。しかし、協力が得られにくい場合も多く、ケア困難な時もあります。そこで小林先生に診察して頂き、治療や口腔ケアの実践・指導をしてもらっています。

今後先生に協力を頂きながら、呼吸器の感染予防の為、口腔衛生に留意していきたいと思えます。



### 三輪病院・みわ苑

## 中途採用職員研修会

10月1日・23日の2日間に渡り「中途採用職員研修」を行ないました。対象者は4月2日から9月30日までの入職者14名です。まず1日目は、看護部長・看護師長・各事務長

等から、三医会の理念・倫理、防災・緊急連絡網、就業規則、個人情報保護、接遇、拘束・虐待防止、感染・安全対策について説明を受け、2日目は、リハビリスタッフから、トランスファー・腰痛体操・摂食嚥下訓練等について実技研修を受けました。今後は、各部署の研修計画に基づいて必要な知識・技術を身につけて、能力向上に努めていただきます。

今後はますます活躍されることを期待いたします。



### となみ三輪病院・グループホーム庄の里

## 新規採用者研修会

医療療養病棟2階看護師長

國弘沙矢佳

9月に2階病棟に採用されました。この研修会に参加させていただきました。改めて三輪病院の職員としての自覚を持つことができました。至らない点が多いですが、これからよろしくお願ひします。



## となみ三輪病院病棟研修会 〜より「深い記録」を めざそう〜

今回の「記録」についての研修会は、全員が参加することができるよう9月19日と10月8日に分けて実施しました。これまでも数回行ってきましたが、今回は事例に基づき、各フロアの看護職員・介護職員に分かれて行いました。

これまで医療病棟では、「SとO」のみの記録が多く、「深い記録」がされていない状態でした。介護病棟でも、「O」のみの記録が多くその後の経過の記録が少ない状態でした。今回の研修で、患者様の状態のみではなく背景や病態も観察把握し記録に残す事を学びました。

この研修で学んだことを今後の記録に生かして行きたいと思えます。



# タオルの寄贈式

## 345枚のタオル、JAM組合員の熱い想いに感謝する

活動方針に「社会参画促進に向けたボランティア活動の推進」を掲げている、JAM(機械・金属産業労働組合)北陸の執行委員黒川智之さん、JAM北陸女性協議会・富山の議長山下真由美さん他5名がタオルを寄贈するために、10月4日に三輪病院・みわ苑を訪問しました。当法人からは、竹鼻敏孝理事長、五十嵐藤子看護部長、藤田克博・青木隆祥事務長が出席しました。

寄贈のきっかけは、みわ苑に入所中の石黒久信さんのご家族で女性協議会・富山の幹事である石黒明美さんのご紹介により実現したものであります。

寄贈式で執行委員黒川智之さんは「JAM活動の一環として、10年前よりボランティア活動に取り組み、車椅子の寄贈、納涼祭の協力、タオル集め等を行ってきました」と挨拶し、女性協議会・富山の議長山下真由美さんは「組合員が345枚のタオルを集めました、使用して下さい」と台車に積まれた箱詰めしたタオルを看護部長に渡しまし



看護部長は「タオルが手に入らなく嬉しい、患者さま、入所者さまに使用させていただけます」、理事長は「大変貴重なご好意を戴きました」とお礼を言いました。

その後、会員一同はこなか園と2階療養棟を見学し、中間施設としての老人保健施設の機能、入所待ち期間、退所後の受け入れ状況等について意見交換を行いました。



- 出席者
- JAM機械・金属産業労働組合 北陸 執行委員 黒川智之
  - JAM機械・金属産業労働組合 北陸 女性協議会・富山 議長 山下真由美 (SNH労働組合)
  - 副議長 畑 昌代 (三協立山労働組合)
  - 近江麻紀 (コマツNTCユニオン)
  - 事務局長 大井早苗 (不二越労働組合)
  - 幹事 北山五月 (不二越労働組合)
  - 幹事 石黒明美 (三精工業労働組合)

## 三輪病院 認知症治療病棟

### 恒例の

### おはぎ作り

〜仕上がりバッチリペロリといただく〜



9月19日 毎年恒例のおはぎ作りを行いました。

始める前に手を洗い、割ぼう着やエプロンを着て、頭にバンダナを巻き、使い捨て手袋を付けて待ちます。患者さんたちは、いつもの病衣姿と違って、懐かしく、穏やかで、微笑ましく見えました。

一人の患者さんは自分の身に着けた割ぼう着が気に入って「これ買いますから分けて下さい。」と言われ長い間着ておられました。

おはぎ作りが始まり、ご飯を捏ね、まあるい形に作り、あずき、きなこ、ごまを付けていると、つい食べたくなる様子が各テーブルで見られました。

家族の参加もあり、お店に出しても良さそうな形の良いおはぎに仕上がって、楽しく終える事ができました。

皆で作ったおはぎは、昼食にいただき「美味いね。」と言ってペロリと食べられました。トランプもなく、安全に終える事ができ、患者さん達の幸せそうな笑顔と「美味しかったね、またおはぎ作りをしようね。」の言葉を聞く事ができ、私たち職員も嬉しく、ホッとしたひと時でした。

### 秋の遠足

### ファミリーパークを散策



認知症治療病棟では様々な行事を行っているのですが、今回初めて秋の遠足を企画しました。患者様とご家族様との交流の機会を増やしたいという思いから、富山市ファミリーパークへの遠足を考えました。

10月23日、患者様6名とご家族様で富山市ファミリーパークへ行ってきました。当日は、天候にも恵まれ、パーク内を一緒に散策し、様々な動物をみました。シマウマやキリンをみて、「大きいね」「首長いね」とらの前では「こわいわ。でも今寝ているね」と動物の表情や仕草に患者様、ご家族様ともに興味津々に見ておられ、会話も弾んでおられました。



今回初めての試みのため、少人数での参加とさせて頂きました。少し不安な面もあったのですが、患者様、ご家族様より「楽しかった」と言ってくれたことが、職員一同、大変嬉しかったです。今後も、患者様とご家族様との交流の機会を設けていきたいと思います。

# 故人の遺志を引き継いで

## 追想 ありし目

特定医療法人社団 三医会・社会福祉法人 三寿会 前理事長、三輪哲郎、平成25年8月1日、逝去しました。ここにご報告申し上げますとともに、「心の通う人間、骨身を惜しまぬ人間」「患者には限りなく優しくあれ」との遺志を引き継いでいきます。

経歴する施設では、まほろび三輪哲郎さん、温厚な人柄に、周囲には自然と人が集まった。2010年撮影



2013年8月1日、82歳で死去

1966年のクリスマス、富山市大泉でスタッフ十数人の外科病院が産声を上げた。後に470人余りの職員を抱える医療法人社団三医会と社会福祉法人三寿会のルーツだ。医療と福祉

## 高齢者医療に力注ぐ

三医会・三寿会 前理事長

三輪 哲郎さん

みわ つ お

(富山市西大泉)

を兼ね備えるグループを二代で築いた。もともとは富山市中心部にあった電器店の長男。家業を継ぐつもりで富山文理学部に進んだ。母方の祖父が開業医だった縁もあり、日本医科大学に入学。京都大医学部や勤務医を経て、66年に三輪外科病院を開いた。当時、虫垂炎などの治療は手術が頼り。救急搬送が今ほど整っておらず、急患も多かった。日曜も午前には診療し、休診は元日ぐらい。仕事漬けの日々は妻の良枝さん(77)は「家族旅行なんて記憶にない。県内の泊旅行でも、夕飯を食べて翌朝には帰って行った」と苦笑いする。市小中へ病院を移転する際、全国でも数少ない認知症専門病棟を、県内で初めて開設した。「不思議と時代を先読みしていた」と、長女の竹島純子さん(53)は富山市大泉町。高齢者が尊敬を保ちながら人生をまっとうできるようにと、介護事業にも乗り出した。

仕事人間の半面、学生時代に手術が頼り。救急搬送が今ほど出合った合唱を愛した。富山大の黒坂富治名誉教授(94年死去)の教え子らでつくる富山交声合唱団に所属。現団長の黒坂康之さん(66)「同市五福」は「病院や施設で三輪先生が歌うと、みんな大盛り上がり。音楽療法をいち早く取り入れているのだから

うと感じた」と振り返る。ことし3月に入院。内臓に腫瘍が見つかり、手術して一時は退院したが再入院。8月1日に容態が急変し、帰らぬ人となった。「心の通う人間、骨身を惜しまぬ人間」。大切にされた言葉には「患者には限りなく優しくあれ」との思いが込められている。病院などは現在、純子さんや夫で三医会・三寿会理事長の敏孝さん(55)らを守る。「どれだけ医療技術が進歩しても、患者の心の支えでありたい」。遺志を継ぐ2人は、その口をそろえて(社会部・中谷敬)

北日本新聞社提供 2013年10月14日



1986年5月 立派に新築された三輪病院



1982年3月 三輪外科病院正面での看護学校卒業記念



1976年12月 増築して53床になった三輪外科病院



1969年9月 三輪外科病院開設時のOP室

### 略 歴

- 1931年 富山市本町に生まれる
- 1958年 日本医科大学医学部卒業
- 1968年 京都大学医学部博士学位授受
- 1966年 三輪外科医院 開設
- 1986年 三輪病院 開設
- 1989年 医療法人社団 三医会 設立
- 1991年 介護老人保健施設 みわ苑 開設
- 〃 三輪病院 老人性痴呆疾患治療病棟 開設
- 1997年 三輪病院 療養型病床群 開設
- 〃 社会福祉法人 三寿会 設立
- 1998年 特別養護老人ホーム三寿会 開設
- 1999年 となみ三輪病院 開設
- 2003年 ケアハウス三寿荘 開設
- 2007年 ふれあいステーションあざみ 開設



現在の三輪病院・みわ苑



1991年3月 電気ビル みわ苑新築・三輪外科病院25周年記念祝賀会



1999年4月 となみ三輪病院新築

**渡辺経営企画部長  
厚生労働大臣表彰される**

11月13日、ボルファートとやまで開催された、富山県年金委員・健康保険委員大会で表彰授与式が行なわれ、渡辺裕之経営企画部長が「積極的な社会保険委員活動を通じて年金保険・健康保険制度の発展に尽力した」功績で厚生労働大臣表彰を受賞されました。

渡辺部長は、平成2年から社会保険委員になり、その間、富山社会保険委員会会長、富山県社会保険委員会連合会長、富山県社会保険健康づくり事業推進協議会委員、社会保険診療報酬支払基金富山支部幹事を務めました。

11月27日、受賞祝賀会が開催され、竹鼻敏孝理事長は「渡辺部長の業務や人柄に触れつつ、三医会としてめでたいことである」と祝意を述べ、とнами三輪病院酒井伸也院長による乾杯や法人・職員からの花束贈呈も行なわれました。



祝賀会に参加した皆様



東海北陸厚生局長より授与される

**とнами三輪病院**

**山本 二郎さん  
今年も協力八尾のまち屋に展示**

10月12日～14日、第18回「坂のまちアートinやつお2013」が、八尾の歴史の流れを偲はせる古い町並みで開催されました。

このアート展は、春の「曳山祭り」秋の「おわら風の盆」に名高い八尾町に「風の盆が終わると、町へ訪れる人が極端に少なくなる為、通年のイベントで交流人口を増やせないか」との構想から、民家などがアート会場とし作家・訪問者・地域住民が一体となつて交歓する八尾の風物詩として「まち空間」をつくることを目指したものであります。

とнами三輪病院の山本さんは、構想段階より知人の故古川通泰さん、和紙(桂樹舎)の吉田桂介さん、(株)シー・イー・ピーの山下隆司さんらとともに、作家の選考や資金集めなどに奔走してきました。

今回、山本さんは、八尾・上新町通りの簗庵を会場として「黎明立山」「砺波の家」「薔薇」など洋画15作品を展示、正面には日展入選作品の姉妹編である翠したたる山里の棚田で、老婦が腰をかかめて丁寧に田植をする100号の大作が飾られており、「田植の懐かしさと山里の豊饒を静かに願う」雰囲気が出されていました。

会期中、山本さんは、訪れた人たちに作品のスケッチ場所や構図、色調の意図について分かり易く話していました。(記 渡辺裕之)



**平成25年度第2回 (社福)三寿会・(医)三医会連絡会議 開催される**

10月21日 三輪病院で今年度2回目の会議が開催されました。当日、三寿会から4名、三医会から5名出席し、各法人から提出された左記の議題について情報交換を行いました。

三寿会からは、合同新年会の企画・運営等に関する20項目、当直者の外部委託状況、居宅介護支援事業所の人員及び収支について説明がありました。

三医会からは、みわ苑実地指導内容報告(10月17日実施)、消防訓練の概要(11月19日実施予定)、入所希望者評価基準表の確認、11月13日からの合同インフルエンザ予防接種の日程、就業規則改定の概要、次世代育成支援対策推進法第13条の認定(くるみんマークの使用を得る)、とнами三輪病院チャリティーの運営状況について説明がありました。



## 手作りおやつで 食欲の秋を満喫!!

デイケアセンターでは毎月1回、おやつを楽しんで頂くごとく手作りおやつを企画しています。

9月は敬老の日のお祝いと秋分の日があったので、「おはぎ」を作りました。利用者の皆さんは手際良くあっという間に出来上がりました。

10月はさつま芋の収穫時期という事もあり、「芋茶巾」を作りました。蒸したさつま芋を数人で協力しながら潰し、丸めました。立って芋を潰す人、器を押える人、みんな真剣な顔になったり笑ったりで楽しい時間になりました。潰したさつま芋に抹茶を混ぜ、2色の茶巾絞りにしました。甘さも形も丁度良く出来上がり、食欲の秋を満喫しました。



## 富山県慢性期病院 看護部会ブロッコリ研修会

「慢性期病院の看護・  
介護の役割」を学ぶ

医療療養病棟 看護リーダー  
土倉 香苗

9月28日、高岡の医療法人社団 紫蘭会光ヶ丘病院で「慢性期病院の看護・介護の役割」という研修が行われました。富山地区の慢性期病院の職員が集まりました。看護と介護がグループに分かれ、各病院での業務内容や勤務体制について話し合いを行いました。

どの病院でも慢性期病院での在院日数の短縮に伴い、亜急性期の患者様の受け入れが多く医療行為が以前より増えてきているとの事でした。また、業務の申し送りの時間が長く業務に支障があるという話があり、各病院での対応策について話し合いました。今回の研修会では他の病院の現状や業務内容の工夫が分かり、とても有意義だったと思います。今後、参考にしながら業務に役立てて行きたいと思えます。

となみデイケア作品展

### はり絵 秋のテーマに挑戦



## グループホーム庄の里

らんじょうの家 10月9日 はんにゃの家 10月10日

### コスモスウォッチング



今年も砺波夢の平でコスモスウォッチングが開催されました。庄の里の入居者も当然、地元のイベントにドライブして来ました。心配していた天候も良好で、一面に咲き誇ったコスモスを前に笑顔も満開になりました。日頃、外出の機会も少ない入居者の表情も明るくお供した職員も楽しいコスモスドライブとなりました。また、行こうね!!



### 庄の里文化祭

11月23日に第二回庄の里文化祭を開催しました。入居者の皆さんが作った季節感のある作品や、行事ごとの写真を展示しました。また今回は、入居者の方の若い頃に手作りした彫刻や、手芸品そして、「一体これは誰?」と思えるような若い頃の写真も展示させていただきました。

また、ふれあい写真コーナーを設け、入居者との家族写真を撮影し、とても好評を得ることができました。ステージでは、命和会の踊りや職員による寸劇「水戸黄門」を皆さん楽しそうに見ておられました。最後に入居者・家族・職員の総勢50名で賑やかな会食の時間を過ごして閉会しました。



看護師長 川口美枝子

毎年、6月頃から夏場の食中毒が発生しやすい時期や11月頃から春にかけてインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行しやすい時期に、マニュアルに沿って予防対策を行っています。しかし日々の業務の中で職員の感染予防の意識が薄れていくこともあり、昨年12月から新たに手洗いチェックを実施し、25年度は年2回、6月と11月に全職員対象でブラックライトを使用した手洗いチェックを行いました。



### 正しい手洗いの習慣を

まず、乾いた状態の手に専用のローションを塗ります。次に、各自が通常行っているやり方で手洗いをし、その後、ブラックライトという器具で手指に光を当てます。十分に手洗いが行われていない場合はローションが洗い残しとなり青く光ります。この方法で各自それぞれの洗い残ししやすい場所を確認することができません。正しい手洗いは感染予防の基本

### ブラックライトで手洗いチェック

です。個々に正しい手洗いの習慣を身につけることが重要であり、繰り返し行うことにより予防に対する理解と意識が高まればと思います。

### 庄の里

## ケアプラン研修会

10月、2日間に分けてグループホーム庄の里の職員全員でケアプランの勉強会を行いました。職員一人ひとりが疑問に思っていることや、入居者の意向をどのようにケアプランに反映させたら良いか等、意見を出し合い有意義な話し合いの場が持たれました。

勉強会という場を持つことで、日頃悩んでいることなども話すことができて良い機会になりました。

入居者の思いに沿った支援ができるよう、今後このような機会を作っていきたいと思えます。



### 鳳泉会さん

## ボランティア紹介

10月9日、3階のホールにて鳳泉会の方々による歌と踊りが催されました。

会場には入院患者様、入居者様、利用者様の他に面会に来られていたご家族様も見に来られ、とても賑やかに始まりました。

華やかな花笠をみて楽しそうな表情をされたり、扇を使った踊りに見入ったりしておられ、1曲終わる毎に大きな拍手が起りました。



全部で8曲披露され、最後の「幸せなら手をたたこう」は会場の皆さんと一緒に歌い大変盛り上がりました。会場の賑やかな雰囲気刺激されてか、普段はあまり表情の変化の無い患者様がステージの動きを目で追っており様子印象的でした。

## 小さな手で秋をつかまえた!!

今年初めて遠足を企画し、10月31日に射水市の歌の森運動公園に行ってきました。公園に到着すると、初めて見る遊具に興味津々で遊び出す子供達。登ったり滑ったり、迷路に挑戦したりと思いに遊ぶ姿が見られました。

散歩道では、どんぐりを見つけて袋に大事そうに入れたが歩いたり、枯れ葉を両手

いっぱい抱え、それを思いっきり空に散らしたり。

子供達は秋の自然に触れ合っていました。心配していた天気にも恵ま

れ、楽しい1日となりました。





皆様からよく寄せられる質問に、今回はとなみ三輪病院居宅介護支援事業所のケアマネがお答えします。

**Q** 自宅で生活していますが、歩くことが不自由になり移動や排泄が大変です。車椅子やポータブルトイレを購入するための補助はありますか？

**A** 介護認定を受ければ福祉用具をレンタルできます。1割の負担で利用できるのですが、購入すれば5万円程の車椅子でも1ヶ月4百円、5百円で借りることが出来ます。体の状態変化に合わせて使いやすいものに変更ができるため、購入よりレンタルが便利です。車椅子、ベッド、手すり、スロープ、歩行器、歩行補助つえなどを借りることができます。

ポータブルトイレ、入浴用の椅子など体に直接触れるものは本人専用で使用することになるため、レンタルは購入になります。購入後に申請すると費用の9割が支給されます（1年に10万円が限度額）。

その方に最適なものを使うことができるように、まずはケアマネージャーにご相談ください。



山崎 由香里 高松 泰子

お気軽にご相談ください

## 安全・安心の確保

### 消防訓練

となみ三輪病院



秋の全国火災予防運動期間中の11月12日、消防署の立会いの下、避難訓練を行いました。  
今回は夜間の庄の里、暖房器具からの出火という想定でした。  
近年、他県の病院やグループホームでの火災が多く取り上げられる中での訓練であり、火災報知機が鳴りだしたらどのように動くかを確認しながら訓練に挑みました。  
入居者の方は、階段を使い慣れない為、下りる事に少し苦労しましたが、落ち着いてゆっくり避難することができました。  
これからも日々の安全に努めてまいります！

### 電気設備保安点検

10月30日午後、北陸電気保安協会の「電気設備保安点検」が3年ぶりに行なわれました。  
この点検は、電気事業法第42条第1項保安規程に基づくもので、停電して計測器により設備の総合機能を点検するものです。  
事前に、北陸電気保安協会並びに院内会議で作業手順、病棟・厨房・ダイケア等のバックアップ体制を確認するとともに、停電・復電時の故障に備え委託業者の立会いなどを協議しました。  
当日は5名の協会員が、外観検査・低圧絶縁抵抗測定・高圧絶縁抵抗測定・接地抵抗測定の作業を行い無事終了しました。  
特に今回の点検は、10人が死亡した福岡市の整形外科診療所の火災原因が医療機器からの出火と言われており、電気設備・電気機器の維持及び運用に関する「保安」が高まっている時期に行なわれました。



三輪病院・みわ苑



11月19日、夜間に三輪病院療養病棟2階洗濯室から出火という想定で、避難訓練を行いました。

～日頃より消火栓・消火器の場所を見ておきましょう～



連携を密に、より良い給食作りを

当院は、献立作成、調理業務、洗浄等給食業務全般を(株)メフオスに委託しています。平成25年度は、「届けよう元気な笑顔と感謝の心」をスローガンに食事提供に取り組んでいます。病院施設、職員食を合わせると1日に約740食の食数になりますが、管理栄養士2名、栄養士1名、調理師3名を含む18名のスタッフで給食業務を行っています。

取り組みの1つとして、郷土料理を月1回提供しています。メニューについては事前に栄養士、調理師で集まり打ち合わせを行っています。料理のイメージ、食材の切り方、調理方法、食器の選択、盛り付けなどを話し合います。普段作らないメニューなので、みんなで意見交換をしながらイメージを固めていきます。提供後は患者様の声をスタッフに届けるようにしています。今後メフオススタッフと連携を取りながら、行事食や新しいメニューの考案などをすすめて、より良い給食作りをして行きたいと思っています。



三輪病院 外来 診療科別診察時間 TEL076-428-1234 http://www.sanikai.or.jp

○印が通常診察時間となります 平成25年10月より

	月	火	水	木	金	土
小児科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○		○	○
外科・消化器内科 リハビリテーション科 ◆午後は15時半まで	午前	○	○	○	○	○
	午後		◆			
精神科 ■は予約制	午前	■	■	■	■	■
	午後	■	■		■	■
皮膚科 ▲は隔週予約制	午前	○	○			
	午後				▲	
内科 ■は予約制	午前			■		
	午後					
耳鼻咽喉科	午前					
	午後	○	○		○	○

診察時間：午前 9:00～12:00 午後14:00～16:30

大阪市 天王寺区  
紹介します！ わたしのふるさと



三輪病院  
看護師  
山口 雅恵  
(出身地 大阪市)

私の生まれ育った大阪市天王寺区四天王寺には、聖徳太子が建てた「四天王寺」というお寺がございます。その他にも寺社仏閣が多く、お年寄りや外国の方たちが観光にいらしているのをよく見かけます。地味な印象の街ですが、その分、静かに過ごすことができ住み心地抜群です。しかも、梅田や難波までのアクセスも良い為、ショッピング等も気軽に楽しめます。

さらには、ビリケン様がいらっしゃる通天閣のある新世界も近く、ディープな大阪も体感できます。



療養病棟外壁安全対策修繕工事

8月から10月末まで療養病棟の外壁の経年劣化に伴う、タイル落下防止対策を主とした安全対策工事を実施しました。外壁のタイル修繕に合わせ、汚れ除去のため洗浄クリーニング、ペランダ軒天大部分の修繕塗装を実施しました。外壁がきれいになった療養病棟で気持ちも新たに患者様へのサービス提供を実施してまいります。



編集後記

2020年東京五輪の招致スピーチで、滝川クリステルさんが、手振りを交えて日本語で「おもてなし」の言葉が紹介され、話題を呼び、昨年の流行語年間大賞に選ばれました。「おもてなし」はもてなすの尊敬語で、もてなすとは「とりなす、取り扱う、歓待する、面倒をみる、世話をする」などの多くの意味があり、相手を想う心遣いを感じられる言葉です。富山県には「おもてなし」とは意味が違いますが、「おすそわけ」や「およばれ」など心が温たまりワクワクする美しい響きをもった言葉があります。私たちは「おもてなし」の心で 患者様・入所者様・ご家族の皆様へ接していきたいと思っています。(馬力の男F)

四天王寺の歴史

創建 四天王寺は、推古天皇元年(593)に建立されました。今から1400年以上も前のことです。「日本書紀」の伝えるところでは、物部守屋と蘇我馬子の合戦の折り、崇仏派の蘇我氏についた聖徳太子が形成の不利を打開するために、自ら四天王像を彫り「もし、この戦いに勝たせていただければ、四天王を安置する寺院を建立しましょう」と誓願され、勝利の後その誓いを果たすために、建立されました。(四天王寺HPより)

◎私のおすすめ品と店  
オススメは、八重勝！揚げたてサクサクの串カツが食べられ、メニューの端から端まで頼みたくなるぐらいおいしいお店です。そこで彼と二人で約70本という思い出も：しかも二人の内訳はほぼ半分半分です(笑)  
大阪に食い倒れに行かれる際には、ぜひチャレンジしてみてください

